

## プレ・ランアップノートについて

京都奏和高校は、学び直しをしたいと考えている生徒のための学校です。入学した後の4月から2か月程度「国語」、「数学」、「英語」の学び直しの授業を行います。それが「ランアップ」という授業です。「プレ・ランアップノート」は、小学校から中学3年生までに学ぶ内容のうち、基礎・基本だけをまとめた、各教科60ページ程度の学習教材です。京都奏和高校への進学を検討されるみなさん の学び直しを応援する内容となっています。

### 1. プレ・ランアップノートを配布する目的

#### ●京都奏和高校への進学を考える際の資料

実際にプレ・ランアップノートを見て、

自分にとって取り組んでみようと思える難易度かどうか、確認してください。

「自分には簡単すぎる(難しすぎる)」、もしくは「難しいページもあるけれど、このような内容であれば安心して学べる」といったように、京都奏和高校での学び直しが自分に合ったものなのかどうかを考える1つの参考資料としてください。

#### ●入学者選抜に向けた資料

京都奏和高校の入学者選抜について、

・学力検査は国語、数学、英語の3教科です。基礎・基本問題の出題となります。

・個人面接では、プレ・ランアップノートにどのように取り組んだのかを聞き、

そこから京都奏和高校への入学に向けた意欲や、目標に対しての取り組む姿勢をみます。

京都奏和高校への進学を考える際に何から取り組めばいいのかと迷わず、まずはプレ・ランアップノートに取り組んでみてください。

### 2. プレ・ランアップノートの取り組み方

1) まず各教科の内容や問題を見て、自分にとって復習が必要だと思うところを探し、取り組み始める場所を決めてください。

2) 次に、どのような目標でプレ・ランアップノートに取り組むのかを考えてください。

3) 目標が決まれば、各教科のプレ・ランアップノートに、目標を記入してください。

もちろん、途中で目標が変わっても構いません。

(目標例 「〇ページまでの問題は確実に解けるようになる」、「わからない問題は、理解できるまで繰り返し取り組む」など)

4) 実際にプレ・ランアップノートに取り組んでください。

自分で立てた目標に向けて計画的に取り組み、少しでも基礎学力を高めることができれば、高校で学びを続ける力につながるはずです。そのような思いで取り組んでみてください。

## ●各教科の注意事項

### <国語>

- ・ 小学校段階の復習から、中学校3年の教科書の学習までの、基礎的な内容をまとめています。
- ・ ページによっては説明のあるものがあります。その説明を理解して、問題を解きましょう。
- ・ 番号順にこだわらず、いろいろな学習内容に取り組みましょう。その取り組みの中から、自分でできるところと、できないところに気づいてください。

### <数学>

- ・ 整数や分数の計算問題から、中学3年生の2月までに学習する、基礎的な内容をまとめています。
- ・ 4つの領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」で構成しており、それぞれのタイトルにある丸数字は、中学で習う学年を表しています。丸数字の中の数字が大きくなるほど内容は難しくなりますので、例えば、「数と式」の分野で先のページに進むことが難しくなれば、違う領域の最初のページから取り組んでみてください。
- ・ 「参考」は、少し発展した内容として付け加えています。できる人はチャレンジしてみてください。
- ・ 各問題の前には☆マークで解説を付けていますので、その解説を確認してから問題を解きましょう。

### <英語>

- ・ アルファベットの書き方から、中学校3年生2月までに学習する、基礎的な内容をまとめています。
- ・ 「No. ○」のように「No.」が付いているプリントは左ページを参考にし、右ページの問題に取り組んでください。
- ・ 「Warm Up」ではアルファベットの書き方や読み方、「Basic」では人称代名詞や疑問文・否定文の作り方を復習します。また、「Standard」では基本的な文を使った表現方法に、さらに「Advanced」では少し複雑な構造を含む文を読んで理解できるように練習問題に取り組みます。「Warm Up」「Basic」「Standard」の各パートの後に入っている「Short Break」はそれまでの学習を振り返るためのページです。ぜひ活用してください。
- ・ **覚えよう**の内容に目を通してから、左ページの練習問題に取り組みましょう。その後、実際に英語を使う場面を想像しながら右ページの練習問題をやってください。  
最後に**！確認しよう**がついている場合は、**！確認しよう**で書かれている内容を読んで自分の解答を見直してから、答え合わせをしてください。知らない単語や自信のない単語は、調べて学習しておきましょう。